

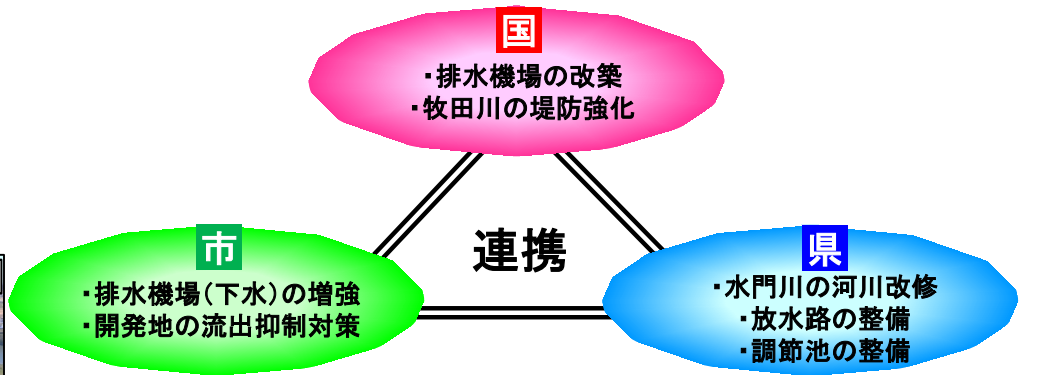
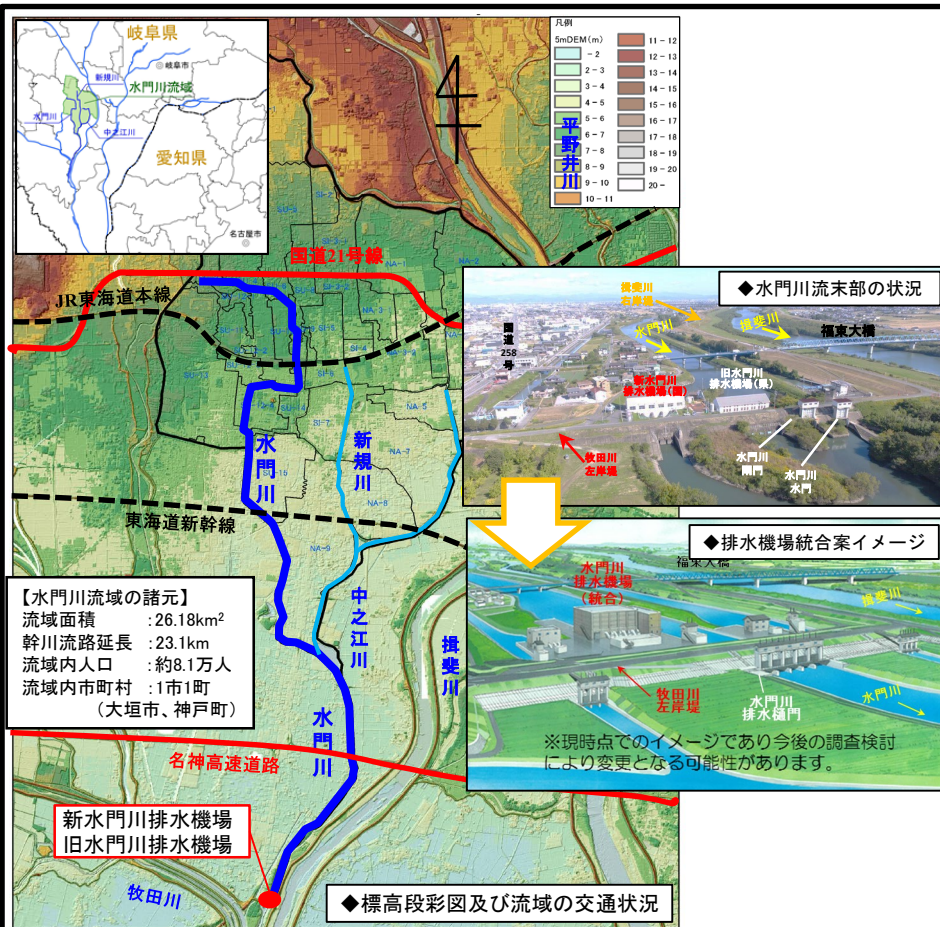
木曽川水系 揖斐川 流域治水プロジェクト

代表施策集

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【目標(コンセプト)】

牧田川、水門川合流部ある老朽化が著しい水門川排水機場について、昭和36年6月豪雨と同規模の豪雨があった場合に床上浸水を解消することを目標に、国、岐阜県、大垣市が連携して改築事業を推進。



対策メニュー

短期	中・長期

【木曾川上流河川事務所、岐阜県、大垣市】水門川流域総合治水対策

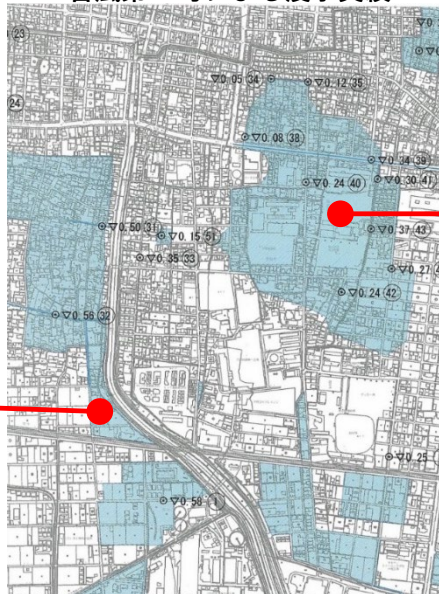
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【目標(コンセプト)】

平成16年10月、台風23号による出水の再度災害防止に向け、水災害リスクの軽減を目標に、雨水調整池を整備。

【概要】

平成16年10月20日
台風第23号による浸水実績



美和雨水調整池
(南中学校グラウンド下)

- 施設概要
- ・竣工年度：平成27年
 - ・構造形式：地下式
 - ・貯水量：2,450m³



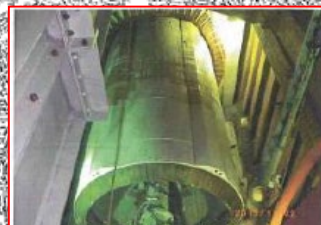
- 本今雨水調整池
施設概要
- ・竣工年度：平成20年
 - ・構造形式：地下式
 - ・貯水量：3,210m³



【目標(コンセプト)】

桑名市総合計画に掲げた「命を守ることが最優先」を実現するため、下水道事業において集中豪雨による浸水被害防止のため計画的な下水道整備を推進。

【概要】



西桑名排水区
＜雨水幹線の整備＞
総延長：2,120m



7/25 集中豪雨の状況



桑名駅西土地地区画整理事業箇所

※桑名駅西土地地区画整理事業による面的整備との連携を図ることで、災害に強いまちづくりを行う。

対策メニュー

短期

中・長期

【大垣市】雨水調整池整備
※ハード整備済

対策メニュー

短期

中・長期

【桑名市】西桑名雨水幹線整備事業
(雨水幹線の整備)



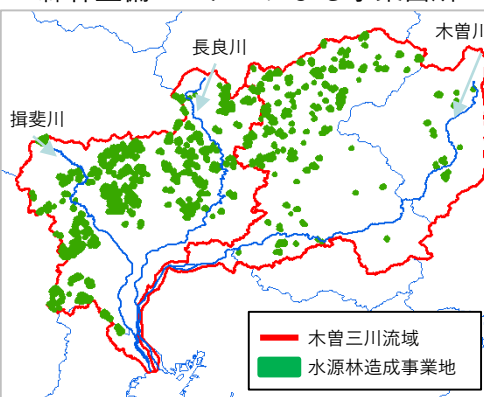
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【目標(コンセプト)】

土砂の流出や流木による被害を軽減するため、森林の有する水源かん養機能や土砂流出・崩壊防止機能の向上を図ることにより、流域治水対策を推進。

【概要】

<森林整備センターによる事業箇所>



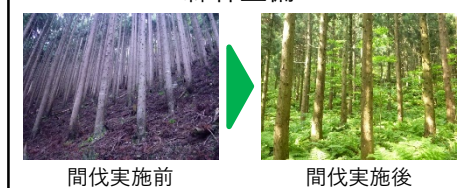
<中部森林管理局による事業箇所>



奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る。

間伐等の森林整備を適時適切に実施するとともに、山地災害等により機能が低下した荒廃地・荒廃森林等については機動的に治山対策を実施。

森林整備



治山対策

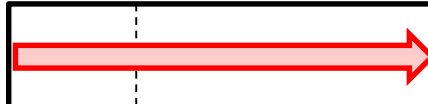


対策メニュー

【森林整備センター】水源林造成事業
【中部森林管理局】流域内における森林整備・治山対策

短期

中・長期



【目標(コンセプト)】

山腹崩壊地や荒廃溪流の復旧・保全対策により、森林地域からの土砂流出を抑制。

【概要】(「足打谷」地区の治山対策)

揖斐川支流粕川右岸の「足打谷」は、度重なる豪雨により著しく荒廃し、下流域への土砂の生産源となっているため、山腹崩壊地の復旧と荒廃溪流の保全を実施する。



崩壊森林の復旧



(復旧イメージ)

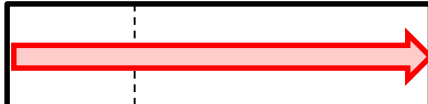


対策メニュー

【岐阜県】荒廃森林・荒廃溪流の復旧、予防対策及び森林の整備・保全

短期

中・長期



氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【目標(コンセプト)】

平成元年9月災害および平成14年7月災害等を踏まえ、土砂・洪水、土石流による被害から保全対象への影響を軽減するため砂防施設の整備を推進。

事業概要

<事業名>
○越美山系直轄砂防事業
<目的>
平成元年9月災害規模および平成14年7月災害規模でも、下流域を含め地域が安全となるよう砂防施設整備を進める。特に主要公共施設、要配慮者利用施設等の保全を重点的・優先的に実施する。
<事業期間>
2011年度～2039年度



ガラノ谷第2砂防堰堤(揖斐川流域)



東前の谷からの土石流により被災した東杉原集落(旧藤橋村)



昭和40年(1965)災害(奥越豪雨)

【目標(コンセプト)】

揖斐川流域における流木、土砂流出抑制のため、砂防関係施設の整備を推進。

【概要】

土石流やがけ崩れなどの土砂災害の発生の恐れがある箇所に砂防関係施設を整備し、流域での土砂流出を抑制する。

砂防堰堤の整備イメージ



対策メニュー

短期

中・長期

【越美山系砂防事務所、県】砂防施設の整備(治山事業による流木・土砂の流出抑制含む)



対策メニュー

短期

中・長期

【岐阜県】砂防関係施設の整備(治山事業による流木・土砂流出抑制含む)



被害対象を減少させるための対策

【目標(コンセプト)】

南海トラフ地震における津波被害想定及び高潮時の浸水想定を踏まえ、災害拠点となる消防本部の高台移転を含めた消防庁舎等再編整備を行い、より強固な防災体制を確立。

地理的に津波からの避難が極めて困難となることが想定される地区に、一時的な避難場所となる津波避難施設の整備を推進。

【概要】

消防本部移転先

【目的】

- ・より強固な防災体制の確立
- ・市民サービスの向上
- ・対象施設の機能の向上

桑名市消防本部

津波避難施設整備

揖斐川

<消防庁舎等再編の対象>

消防本部・大山田分署・消防団詰所・大山田地区市民センター・大山田まちづくり拠点施設 等

地図の出典：地理院地図(電子国土Web)

【目標(コンセプト)】

多度地区にある全ての小・中学校について、新設する「施設一体型小中一貫校」への統合に伴い、洪水による浸水区域等から丘陵地域へ移し、防災面でも安全な教育体制を確立するとともに災害時の避難施設としての活用を検討。

【概要】



位置図

多度中学校

多度北小学校

施設一体型
小中一貫校

(多度中小学校とその付近)

多度青葉小学校

多度東小学校

揖斐川

<対象施設>

多度北小学校、多度中小学校、多度東小学校、多度青葉小学校、多度中学校

対策メニュー

短期

中・長期

【桑名市】消防本部の高台移転(消防庁舎等再編整備)津波避難施設整備



対策メニュー

短期

中・長期

【桑名市】小学校の高台移転(多度地区小中一貫校整備)



被害対象を減少させるための対策

【目標(コンセプト)】

コンパクトで安全なまちづくりを推進するため、居住誘導区域に残存する災害リスクに対して、立地適正化計画に防災指針を定め、計画的かつ着実に必要な防災・減災対策を推進。

【概要】

目標とする将来都市像及びまちづくり方針

■立地適正化計画の基本理念

桑名市特有の歴史・文化を受け継ぎ、
今後の人口減少・超高齢社会に対応する
持続可能な安全で快適な都市環境の形成

■将来都市像

快適な暮らしを次世代にも誇れるまち

■まちづくり方針

基本的な方針(桑名市が目指す都市構造)

- ① 歴史や文化を継承し、桑名駅を中心に交通結節点の機能が強化され、都市機能の集積やまちなか居住により中心市街地が一体となり活性化される都市構造
- ② 鉄道やバス路線などの公共交通が維持され、交流が促進される都市構造
- ③ 歩いて行ける範囲に生活サービス施設(商業施設、医療福祉施設等)が立地し、皆が健康に暮らすことのできる都市構造
- ④ 地域行事への参加や趣味の活動等を通じて地域コミュニティが育まれ、誰もが居場所のある都市構造
- ⑤ 都市基盤や都市機能等の既存ストックが有効に活用される都市構造
- ⑥ **地震、津波、がけ崩れ等の災害から人の命を守ることを最優先とする都市構造**

市内の災害リスク分析を行い、それを踏まえた居住誘導区域の見直し、並びに、防災、減災対策の取組方針及び地区毎の課題に対応した対策検討を行う。

対策メニュー

短期

中・長期

【桑名市】立地適正化計画及び防災指針の検討



【目標(コンセプト)】

想定最大規模降雨による浸水想定において町の南半分が浸水の恐れがあるため、重要施設の建設には浸水に対する配慮が重要であり、想定最大規模の想定浸水深よりも高い地盤高を造成し災害時の重要拠点としての役割を担う。

【概要】

想定最大規模の浸水が発生しても重要施設の機能が失われぬように、想定最大規模の想定浸水深を考慮した地盤高を造成し、災害時の重要拠点としての役割を持たせられるように、施設の構造等を町が積極的に助言等を行い、被害対象を減少させる取り組みを実施。

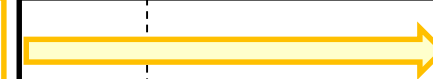


対策メニュー

短期

中・長期

【JA岐阜厚生・大野町】最大規模の洪水による浸水を想定した拠点病院整備



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【目標(コンセプト)】

河川管理者と協働し、町内で大きな被害を出した昭和51年9月豪雨などの災害事例等を通じ、防災学習を実施。

【概要】



河川管理者から9.12豪雨災害の被害状況等について説明



9.12豪雨災害についての映像を視聴

児童の感想

- 9.12豪雨災害について詳しく知ることができた。
- 9.12豪雨災害が起きる数日前から雨が降り続いていたことが分かった。
- 堤防の役割について、理解が深まった。



児童による感想発表

対策メニュー

短期

中・長期

【安八町】防災教育の継続的な実施と内容の充実



【目標(コンセプト)】

木曾三川下流部において高潮や洪水氾濫による大規模かつ広域な浸水被害が発生した場合でも、犠牲者をゼロにすることを目的に広域避難実現プロジェクトを推進。

【概要】



- 浸水想定区域外への自主的な早期広域避難を促す「自主的な広域避難情報(広域避難の呼びかけ)」の発表及び実施体制をとりまとめた「木曾三川下流部高潮・洪水災害広域避難計画(第1版)」を令和2年8月に策定。
- 今後は、訓練等をとおして計画をより実効性の高いものにしていく。

対策メニュー

短期

中・長期

【国・県・市町村等】木曾三川下流部広域避難実現プロジェクトの運用



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

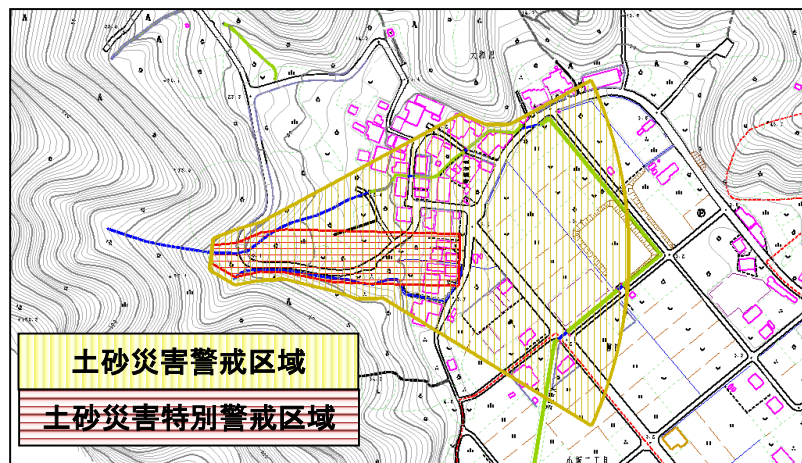
【目標(コンセプト)】

土砂災害の恐れのある土地の明確化と周知を推進するとともに、警戒避難体制の整備を促進。

【一押し施策の概要】

基礎調査により、土砂災害警戒区域の不断の見直しを進め、地形の改変や土地利用の変化等に伴う土砂災害の恐れのある土地の危険度及び認知度の向上を図る。

本調査結果を反映した市町村によるハザードマップ作成など、警戒避難体制整備を支援するとともに、一定の開発行為制限などの土砂災害防止対策を推進していく。



対策メニュー

短期

中・長期

【岐阜県】
防災・安全交付金(総合流域防災)

